

## さんりく 明日へ

東日本大震災を乗り越えて、  
前に進もうとする三陸の人たちからの  
メッセージを届けます。

出張映画館の支配人

櫛桁一則さん

宮古市の「みやこシネマリン」は、岩手県沿岸地域で唯一の映画館だ。支配人の櫛桁一則さんは、震災から2カ月ほど経った昨年5月、映画を観たくても観られない人たちのために、出前の上映会を始めた。以来、沿岸8市町村で約120回、「映画の時間」を超える人たちに「映画の時間」を提供し続けてきた。

仮設住宅の集会場や地区公民館などを会場に、子どもたちにはアニメを、年配の人たちには懐かしい映画を上映する。小さな「映画館」では、子どもたちが歓声を上げ、お年寄りが笑ったり涙を浮かべたり……。「たかだか2時間ですが、映画を観ている間だ

けでも、つらいことを忘れ、ホッとできる。あらためて、映画はすごいと思います」と、櫛桁さんは話す。

ほかのサロンイベントには参加しない人でも、上映会には出てくるという話も聞く。帰り際に、「何十年ぶりかで映画を観て楽しかった」「ありがとう」「また来てね」などと声をかけられると、「休日返上の活動なので、正直キツイときもあるけれど、止められないんです」と笑う。

まだ、足を運んでいない地域もある。活動をいつまで続けるのか、そのゴールは見えない。でも、必要とされている限り、また出かけていくつもりだ。



上映作品は、笑って楽しめるものにして。「楽しんでいる人の顔を見るのが嬉しいから」と、櫛桁さんはスクリーンではなく、鑑賞する人たちの顔ばかり見ている。カメラを構え、笑顔の写真も撮りためている。

シネマリンみやこ映画生活協同組合  
岩手県宮古市小山田2-2-1  
マリンコープDORA2F  
<http://cinemarine.blog45.fc2.com/>

2時間の楽しい時間を  
たくさんの人に届けます

